

「オンラインゲーム広告に関する苦情受付状況」（2024 年度審査状況）に関する
オンラインゲーム業界 3 団体 共同声明

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会（CESA）
一般社団法人日本オンラインゲーム協会（JOGA）
一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム（MCF）

2025 年 7 月 10 日

公益社団法人日本広告審査機構（JARO）から本日発表された「オンラインゲーム広告に関する苦情受付状況」（2024 年度審査状況）に関し、当業界 3 団体は下記のとおり認識を表明します。

インターネット広告に対するオンラインゲーム関連苦情が 428 件と前年の 2.2 倍に増加していることについて、特に未成年者の利用が多いインターネット環境において、過激な性的・暴力的・猟奇的表現を含む広告が蔓延している現状に対し、我々は深い憂慮と強い懸念を表明します。こうした広告は青少年の健全育成に悪影響を及ぼすおそれがあり、看過できない重大な問題であるという認識を共有します。

一方で、苦情上位広告主は国内団体に加盟していない海外事業者が主として占めているため、国内業界団体の自主規制等が及ばず実効的な是正が困難な状況です。

このような困難な状況ではありますが、業界 3 団体は以下のような取り組みを促進して、改善を働きかけていく予定です。

- ① 関係省庁等を通して海外事業者へ広告表現の改善を働きかけてまいります。
- ② プラットフォーム企業及び広告企業・業界と連携して、青少年保護施策の導入を働きかけてまいります。

当業界 3 団体は、健全なゲーム文化の発展と青少年保護を最優先課題とし、国内外のステークホルダーと協力して広告の適正化に引き続き取り組んでまいります。